

## 会議録

会議の名称	第7回 西東京市地域コミュニティ検討委員会
開催日時	平成26年7月17日(木) 午後6時30分～8時20分
開催場所	西東京市役所 田無庁舎 5階503会議室
出席者	委員：伊村委員(委員長)、伊藤(圭)委員(副委員長)、鶴野委員、工藤委員、志村委員、井手委員、菅野委員、土方委員、丸山委員、伊藤(光)委員 事務局：生活文化スポーツ部長、協働コミュニティ課長、協働コミュニティ課市民活動推進係長、協働コミュニティ課市民活動推進係主任 オブザーバー：企画政策課主査、危機管理室主査、生活福祉課調整係長
報告事項	1 西東京市地域コミュニティ検討委員会報告書について 2 西東京市自治会・町内会ガイド「個人情報の取扱手引き編」等について 3 「地域いーな通信 第7号」について 4 3月8日に開催したシンポジウムについて 5 自治会・町内会等活性化補助金制度について
議題	1 平成26年度地域コミュニティ検討委員会と(仮称)地域協議体南部モデル地区会議の進め方について 2 西東京市地域コミュニティ推進庁内会議創設について 3 地域コミュニティ施策の今後の進め方について
その他	1 次回検討委員会開催日
会議資料の名称	西東京市地域コミュニティ検討委員会報告書 西東京市自治会・町内会ガイド「個人情報の取扱手引き編」 西東京市自治会・町内会「個人情報の提供について」 地域いーな通信 第7号 資料1 コミュニティ・シンポジウム参加者アンケート結果 資料2-1 西東京市自治会・町内会等活性化補助金要綱 資料2-2 自治会・町内会等活性化補助金説明会参加者アンケート結果 自治会・町内会等活性化補助金ガイドライン 資料3 平成26年度地域コミュニティ検討委員会と(仮称)地域協議体南部モデル地区会議の進め方 資料4 西東京市地域コミュニティ推進庁内会議設置要領 資料5 コミュニティ施策の今後の進め方 西東京市報平成26年6月15日の1面記事「補助金制度スタート」
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
(開会) 委員長： 平成26年度第7回西東京市地域コミュニティ検討委員会を開会する。	

部長：

(部長あいさつ)

4月1日付新任課長紹介

○課長：

(課長あいさつ)

事務局：

本日の委員会の資料の確認をさせていただく。(会議資料の確認)

委員長：

それでは、本日の議題の確認をさせていただく。(報告事項と議題の確認)

#### 報告事項1 西東京市地域コミュニティ検討委員会報告書について

委員長：

報告事項1 西東京市地域コミュニティ検討委員会報告書について事務局から説明願いたい。

事務局：

西東京市地域コミュニティ検討委員会報告書について説明

4月16日に委員長、副委員長より、市長に対して報告と提言をしていただいた。

委員長：

皆様への当日の報告を、副委員長よりお願いしたい。

○副委員長：

協議体の設立スケジュールについては、早急にやみくもに設立していくのではなく、住民の意思をきちんと反映しながらやっていって欲しいということを市長へ伝えた。

○委員長：

市長へ進言した効果があったのか、スケジュールについては、ゆっくりと組みなおされたようだ。

「議会でも注目度が高いのでぜひとも成功してほしい」という市長よりのお話があった。

#### 報告事項2 西東京市自治会・町内会ガイド「個人情報取扱手引き編」等について

委員長：

報告事項2 について、事務局から説明願いたい。

事務局：

西東京市自治会・町内会ガイド「個人情報の取扱手引き編」等について説明

委員長：

この冊子は、こういったところに配布したのか。

事務局：

全部の自治会にすでに配布済みである。

### 報告事項 3 地域いーな通信 第 7 号について

委員長：

報告事項 3 について、事務局から説明願いたい。

事務局：

地域いーな通信 第 7 号について説明

委員長：

これは、どの程度の頻度で発行しているのか。

○ 事務局：

おおよそ 3 か月～4 か月に 1 回程度発行している。

### 報告事項 4 3 月 8 日に開催したシンポジウムについて

委員長：

報告事項 4 について、事務局から説明願いたい。

事務局：

3 月 8 日に開催したシンポジウムの参加者アンケート結果について説明

委員長：

これについて、何かありますでしょうか。

委員長：

アンケートの意見中「調布市の小学校区ごとの設置が良かった」「市を 4 つに分けるのは大きすぎる」という意見も、実際的な大事な意見かもしれない。

シンポジウム参加者は、コミュニティに関する意識が高い方たちなので、それ以外の方をいかに引き込んでいくかが大変な作業だと思う。

### 報告事項 5 自治会・町内会等活性化補助金制度について

委員長：

報告事項 5 について、事務局から説明願いたい。

事務局：

- ・自治会・町内会等活性化補助金
- ・自治会・町内会懇談会
- ・懇談会時実施アンケート結果  
について説明

委員長：

このアンケートの集計結果は、3回の説明会の合計の集計結果か。

事務局：

はい、3回分の合計の集計数値である。

委員長：

市内全域から参加があったか。

事務局：

3回ともまんべんなく市内全域から参加があった。

副委員長：

3回の各説明会の参加人数を教えてください。

事務局：

参加者は1回目の保谷庁舎が約50人、第2回目の平日夜のイングが約20人、第3回目の田無庁舎が約40人。参加者の男女の比は約3分の1は女性であった。

委員：

これから自治会を設立する場合、何人の会員が必要か。役員は必要か。

事務局：

特に法的に何人以上というしぼりはない。役員は必要である。

委員長：

昨年度作成した「自治会町内会加入の手引き」に設立の準備については記載がある。

事務局：

自治会設立には、書類作成の手順が必要である。協働コミュニティ課で、設立に関するご相談も行っているのでご利用いただきたい。

委員長：

この補助金制度は、かなり裁量があり幅広い助成をすることが、事務局としてのPRポイントのようだ。委員で自治会長の立場の方としては、この補助金制度はどう考えるか。

委員：

とても魅力的な補助金だ。特に、複数の事業を合わせて申請できる点が良い。是非申請しようと考えている。また、自治会懇談会については、いろいろな自治会の話が聞けてとても良い。

委員長：

先程新たな自治会設立の話が出たが、現在の自治会の数の増減等は。

事務局：

年度初めの調査によると、増減があり約 220 団体になっており、若干減っている。設立については、手引書や相談業務で支援していきたい。

委員長：

パワーがない自治会は、他の自治会に吸収してもらおうとよいのかもしれない。補助金制度は、申請期間が 2 回あるところがよいと思う。実績報告書提出の時にでもアンケートを実施し、補助金の使い易い点や効果等をきき、確認するとよい。

#### 議題 1 平成 26 年度地域コミュニティ検討委員会と（仮称）地域協議体南部モデル地区会議の進め方について

委員長：

議題 1 について、事務局から説明願いたい。

事務局：

平成 26 年度地域コミュニティ検討委員会と（仮称）地域協議体南部モデル地区会議の進め方について説明

委員長：

このスケジュールだと、今年度はモデル地区会議は南部のみの動きに専念してよいと解してよいのか。

事務局：

よい。

委員長：

当委員会の今年度の役割は何か。

事務局：

南部の検討結果を当委員会へ報告し、検証をしていく作業が主である。その中で、基本方針等の修正をかける可能性もありうる。

委員長：

南部モデル地区会議の第1～2回目の「地域課題出し」が当委員会、モデル地区会議両方にとってキーポイントと考えられる。モデル地区会議のエリアを、全体での協議と、小学校区単位ぐらいの小さい単位での協議と2種類やらないと、出てくる課題が各々で違うと思う。

委員：

広いエリアでは大きな課題が出て、小さいエリアでは細やかな課題が出て、両方大切な課題だと思う。きちんと議論しないと課題が出てこないなので、時間が足りない。

委員長：

時間が足りない場合の策として、「感想シート」を作成し、発言できなかった意見等をあとからFAXしてもらおう等の工夫をすると良いと思う。

委員：

課題を整理しながらグループ化をしていけば、エリアや団体をグループ整理していけると思う。

副委員長：

協議体をつくるという前提を理解したうえで地域課題出しをしてほしい。メンバーは前年度と同じなのか。

事務局：

団体は、前年度と同じ団体に招集をかける予定である。自治会は南部にある全自治会に声かけをする予定だ。小学校区エリアのグループ化等、運営方法は知恵を絞りたいと思う。

委員長：

席も南部の地図のようにしてグループ化していくのも面白いと思う。自治会空白地帯等をどうするか等も目に見えるので、横の連携の必要性等も考えていきやすい。

委員：

ファシリテーターはどうするのか。課題出しは、いろいろな市の会議でもずっとやっているが、集約

できず結論がでないことばかりだ。全団体にとって共通の課題は「防災」で、昨年モデル事業第2回目で「ワークショップ防災」をやったが、地域の課題だしの集約化はとても難しい作業だ。

事務局：

第1回～2回のファシリテーターは、第3回目の学習会講師謝金の予算の組み替えを視野に入れながら再考してみる。

委員：

防災が地域課題という話の中で、防災計画は各学校単位でつくっているが、情報の公開がされていないため、各団体が情報共有できていないのが実情だ。

委員長：

地域協議体をつくる上での地域課題と、南部エリアの問題点では、また意味合いが違う。

委員：

この協議体は、目標設定型ではなく課題解決型なのか。

委員：

参加者のポテンシャルが高くないと、問題解決型は難しい。やはりファシリテーターの力量が高くないと結論付けはなかなか難しい。

委員長：

第1～2回目の南部の課題出し合いの運営方法は、事務局がもう1度考えてほしい。

委員：

目的・目標をしっかりとらえて考えれば良いと思う。

## **議題2 西東京市地域コミュニティ推進庁内会議創設について**

委員長：

庁内連携の組織づくりは初めてか。

事務局：

初めてではないが、コミュニティ施策の領域では初めての設置になる。この組織の意味は大きく2つある。1つは、庁内の横断的な情報発信と情報共有である。もう1つは、協議体の機能が他部署所管団体の機能とかぶる点もあるため、調整・協議の場としても活用していく。

## **議題3 地域コミュニティ施策の今後の進め方について**

委員長：

議題3 について、事務局から説明願いたい。

事務局：

地域コミュニティ施策の今後の進め方について

委員長：

自治会等のコミュニティの受け皿をまずは全地域につくることが、当市には必要なステップだと思う。10年スパンだと、世帯数や人口動態等の変化も加味しなければならない。全市と南部の地域等とに分けて考えていくと、エリアの特徴も見えてくると思う。

事務局：

第1のステップの自治会支援策は、先進自治体も取組んでいる基本的な取組パターンだと考える。横のつながりや行政との連絡会議としての機能強化をはかり、連合組織につなげていきたい。矢印として表記している施策を、当委員会で施策や段どりを考えていただければ幸いだ。

次に、27年度に南部地域設立を目標に、当委員会の検証を通して、他のエリアにも広げていくように考えていきたいので、ご協力をお願いしたい。

委員：

南部モデル地区会議の第1回目の8月20日は、ファシリテーターの件を含めてスケジュール的に間に合わないのではないかと。

委員長：

ファシリテーションをしっかりと考えて焦らず実施して行ってほしい。第1回目と2回目は、近い日程の方が逆に議論が集中して良いと思う。

事務局：

南部モデル地区会議第1回目の日時を含めて、スケジュールについても再検討してみる。

#### その他 次回検討委員会開催日について

事務局：

次回の検討委員会日程は、お手元の10月後半の予定表に出欠のご記入をいただき、委員の参加数が多い日で決定することをご了承願いたい。

以上